FMO USBシリーズ（外付け型MOドライブユニット）

取扱説明書

株式会社　富士通パーソナルズ

もくじ

はじめに …… 1
保証書について …… 1
ユーザー登録カードについて …… 1
お読みください …… 1
取扱い上のご注意 …… 4

Section 1 ご使用の前に
Part1 ご使用の前に …… 8
Part2 各部の名称とそのはたらき …… 9
Part3 取扱いについて …… 11

Section 2 セットアップ
Part1 Macintosh …… 14
Part2 Windows98（Second Edition含む） …… 17
Part3 Windows2000 …… 26

こんなときは（トラブルシューティング） …… 29

仕　様 …… 32

はじめに

はじめに

このたびは、MockingBird-MO 光磁気ディスクユニット（以下MOドライブユニットとします。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に、必ず本書をお読みください。

保証書について

保証書は必要な事項がかきこまれているかをご確認ください。お買い上げ時に正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償保証を受けられないことがありますので、充分ご注意ください。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店様にお問い合わせください。

ユーザー登録カードについて

ユーザー登録カードは、必要事項をご記入の上必ずお出しください。ユーザー登録がない場合、サポートやバージョンアップなどサービスを受けることが困難になります。

お読みください

1. 本書は、制作元が著作権を有します。
2. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
3. 本製品および本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
4. 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
5. 本書の内容および本製品に関しては、万全を期して作成および製造しておりますが、万一ご不審な点がありましたら、お問い合わせください。
6. 本製品を使用した結果の影響については、5項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. また、6項に伴いシステム、データ、MOディスクなどの保証は、一切できかねます。更に、ソフトウェア・ハードウェアの故障・誤動作・その他どのような理由によって発生した損失に関しても、保証は一切できかねますのでご了承ください。
8. 本製品は信頼性の高い部品で構成されていますが、不意の障害や事故が発生した場合にデータの復元が不可能になる場合があります。大切なデータ、プログラムを収めたMOディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにし、さらにバックアップを行うなど、安全策を心掛けてください。
9. 本製品は絶対に分解しないでください。分解されますと、お客様の財産に損害を与える事故が起きても補償いたしません。また、一度分解されますと故障した場合の修理は保証期間内であっても有償修理となります。
10. 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談やアフターサービスなども日本国外では行っておりません。

株式会社富士通パーソナルズ

取扱い上のご注意

取扱い上のご注意

ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書の表示について

次のような表示と内容により「取扱い上の注意」を説明していきます。必ずお読みの上、説明書の内容に沿って正しくお使いください。

警告 この表示は「使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示しています。

注意 この表示は「事故や故障、損害などが起きる可能性がある内容」を示しています。

絵記号の意味

この表示は「注意・警告を促す内容」を示しています。

この表示は「禁止事項を促す内容」を示しています。

この表示は「しなければならない内容」を示しています。

本製品を取り付ける際には、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが指示する警告・注意の指示を守ってください。

分解しないでください。	本機は絶対に例えネジ一本でも分解しないでください。 分解されますと、機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。 その際に発生する、いかなるお客様の損害に対しても一切補償いたしません。 また一度分解されますと、いかなる原因によって発生した故障の修理は、保証期間内であっても全て有償修理扱いとなります。分解された事に対するサポート（修理対応は除く）は一切いたしません。
電源は、専用ACアダプタで使用して下さい。	ACアダプタは必ず専用のものを使用して下さい。 また、ACアダプタはAC100V（50Hz/60Hz）・国内用です。 海外や特殊な電源装置（電圧変換インバータ、発電器など）からの供給によるご使用は絶対にしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。
異常が発生したとき。	本体から異臭や煙、発火が発生した場合には、直ちに電源をOFFにし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
異物を入れないでください。	本体内部には高圧な電気が流れている部分や、機械的な動作をする部分などがあります。 異物が入るとショートや機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となりますので絶対に入れないでください。 水など液体が入ったり浸水してしまうと機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。また状態によっては、修理不可能となる場合があります。 異物が万一入ってしまった場合は、分解したり無理に取り出したりせずに修理としてご依頼ください。
装置への電源ケーブルの抜き差しは丁寧にして下さい。	電源ケーブルは破損しないように十分にご注意ください。 ケーブル部分を持っての抜き差しや、物が乗ったり、鋭い物に当たっていたりすると、ケーブルの被服が損傷し、故障、あるいは火災・電気的トラブルなど重大な事故の原因となります。
ACアダプタのプラグは確実に根元まで差し込んでください。	差し込みが不完全な場合、隙間にほこりや異物が入り火災の原因となります。 又、抜く場合はプラグをもって抜いて下さい。ケーブルを持って抜くと損傷・故障、あるいは火災・電気的はトラブルなど重大な事故原因となります。
濡れた手で取り扱うのは危険です。	濡れた手で、本体の取り扱いをしたり電源ケーブルやUSBケーブルの抜き差しをすることは絶対にしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。

⊘	**強い磁気や強い電波が発生しているものには近づけないで下さい。**	磁石のような磁気を発するものや、無線機のような電波を発するものを近づけないでください。誤動作をする可能性があります。
⊘	**落下したりぶつけたりしないで下さい。**	動作時・輸送時に落下したりぶつけたりして、強い衝撃や振動を受けると故障や破損する可能性があります。また、MOディスクを排出してから移動してください。挿入されたまま衝撃や振動を受けると故障や破損する可能性があります。
⊘	**電波の影響する機器には近づけないで下さい。**	この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害の原因となる場合がありますので、近づけないように設置してください。また、電波に影響される機器にも近づけないようにしてください。誤動作をさせる可能性があります。
⊘	**設置は快適な場所でご使用下さい。**	振動の大きい場所、ホコリのひどい場所、薬品の噴霧中での使用はしないでください。故障の原因となります。
⊘	**湿度や温度の厳しい場所や状態で使用しないで下さい。**	極端な高温（低温）状態や高湿度な場所、直射日光の当たる場所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くでの使用はしないでください。故障の原因となります。また、急激な温度変化は結露の原因となり動作させると故障の原因となりますので、周囲の温度になじんでからご使用ください。
!	**設定や接続の変更や操作は電源をOFFにしてから行って下さい。**	接続をしたり変更したりする場合には必ず周辺機器全ての電源をOFFにした状態で行ってください。本体の設定をしたり変更したりする場合には必ず本体の電源をOFFにした状態で行ってください。電源ONの状態で取り扱いをすると、故障の原因となります。
!	**MOディスクを読み書きしてるときは、そのままにして下さい。**	ライトキャッシュの機能によってパソコン上では書き込みが終了しても、本体は動作を続けています。本体のアクセスランプが点灯している状態で電源を切ったり、イジェクトを行わないでください。MOディスクの物理的な破損およびデータ破壊、本体の破損や故障の原因となります。
!	**データのバックアップを取って下さい。**	MOディスクへの読み書き動作中に不意の障害や事故が発生した場合、MOディスクの読み書きおよびデータの復元が不可能になる可能性があります。万一のためにバックアップを行うように、安全策を心掛けてください。また、大切なデータ、プログラムを収めたMOディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにしてください。
	移動する場合は。	機器の移動を行う場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いて下さい。電源コード・ACアダプターが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。
⊘	**イジェクトピンの取扱い注意。**	イジェクトピンは、幼児が誤って飲み込まぬ様、幼児の手の届かないところに保管して下さい。

ご使用の前に

Section 1

Part1

ご使用の前に

1 初めてお使いいただく場合は、次の順にお進み下さい。

開　封　　　梱包の内容を確認する

▼

読　む　　　取扱説明書を順に読む

▼

デバイスドライバのインストール

▼

設　定　MOドライブユニットの設定／接続

▼

OS起動

2 梱包内容

以下のものが梱包されていることを、お確かめください。万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店までお申しつけください。

- MOドライブユニット本体1台
- 縦置きスタンド1個
- ACアダプタ1個
- 取扱説明書1部（本書）
- イジェクトピン1本
- MOディスク1枚
  （1.3GBモデルは、1.3GB　MOディスク×1枚
  640MBモデルは、640MB　MOディスク×1枚
  230MBモデルは、230MB　MOディスク×1枚）
- MockingBird-MO デバイスドライバ　1枚（CD-ROM）
- USBケーブル1本
- 保証書1枚
- ユーザー登録カード1枚

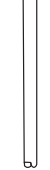
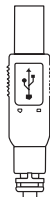
Part2

各部の名称とそのはたらき

1 MOドライブユニット

② USBケーブル

USB端子を装備するパソコンとMOドライブユニットを接続するケーブルです。

Part3 取扱いについて

1 メンテナンス

MOドライブユニットおよびMOディスクは、ゴミ、ちり、ほこり、タバコの煙や灰などの付着によって性能が低下したり、場合によっては装置の故障の原因となります。安全にご使用いただくには、MOドライブユニットおよびMOディスクを定期的に掃除する必要があります。

①MOドライブユニットのお手入れ

まず、AC電源ケーブルをコンセントから外してください。本体の汚れは、やわらかい布によるカラ拭きか、水または中性洗剤を含ませてよく絞った布で軽く拭いてください。揮発性の溶剤（ベンジン、シンナー）等の使用は、変形や変色などの原因となりますので避けてください。

②MOドライブユニットの清掃

3カ月に一回を目安に、専用クリーナーを使って清掃します。

	品　名	商品番号
富士通コワーコ（株）	光磁気ディスククリーニングカートリッジ*	0240470

◆クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。
*お求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談下さい。

③MOディスクの清掃

3カ月に一回を目安に、専用クリーナーを使って清掃します。

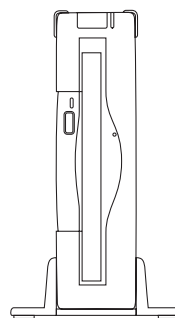
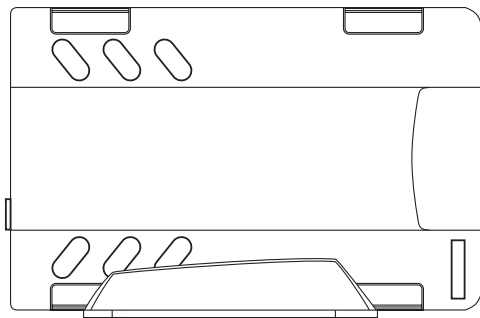
	品　名	商品番号
富士通コワーコ（株）	光ディスククリーニングキット（3.5型）*	0632440
	光ディスククリーニングキット（補充用）*	0632450

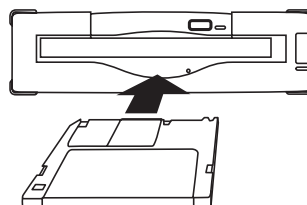
◆クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

*お求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談下さい。

2 MOディスクとMOドライブユニットの取扱い

①MOドライブユニットの設置方向

横置きのデザインになっていますが、付属のスタンドをご使用の場合縦置きもできます。

②MOディスクの挿入

ディスク挿入口からMOディスクを入れます。「カチッ」という音がするまで押し込んでください。MOディスク挿入直後、アクセスランプが数秒間点灯します。この間に装置はディスクの管理状態をチェックして、読み書きを行う準備をしています。（3秒〜10秒程度）

③MOディスクの排出

イジェクトボタンを押してMOディスクを排出します。何かの不具合により通常の方法で排出できなくなったときは、強制イジェクトホールにイジェクトピンを入れて排出します。

■イジェクトピンによる排出

❶まず、本体の電源は切った状態にしておきます。
❷強制イジェクトホールにイジェクトピンを入れて、やや強めに押して排出します。

④MOディスクのラベルについて

MOディスクにラベルを貼る場合には、必ず専用のラベルを決められた位置に貼付してください。また、貼付する面は汚れや油分などをきれいに拭き取っておいてください。専用のラベル以外のものを貼付したり、貼り直しや、貼付する面が汚れていると剥がれの原因となり、場合によってはMOドライブユニットの内部に貼り付いてしまい、排出が困難となります。無理に取ろうとせず、お買い上げの販売店様に修理をご依頼下さい。

⑤オーバーライト機能について

これまでは、MOディスクにデーターを書込みする場合[消去]→[書込み]→[ベリファイ]の３ステップが必要で、書込みの遅さがMOディスクの弱点とされていました。しかし、オーバーライト対応MOディスクを使用することにより、書込み動作は[オーバーライト]→[ベリファイ]の２ステップになり、回転待ち時間も減少します。オーバーライト機能を使うことにより、書込み速度は約30%アップします。本MOドライブユニットは、この機能に対応しておりますのでこの快適さを実感することができます。

■オーバーライト機能の使用上の注意

❶オーバーライト機能はオーバーライト対応MOディスクが必要です。
❷従来のMOディスクを使用した場合は、従来と同じ書込み速度になります。
❸オーバーライト対応MOディスクは、この機能に対応していないMOドライブユニットでは使用できません。

	品　名	商品番号
富士通コワーコ（株）	640MBオーバーライト対応 OW640*	0242710
	540MBオーバーライト対応 OW540*	0242510
	230MBオーバーライト対応 OW230*	0242310

*お求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談下さい。

セットアップ
Section 2

Part1 Macintosh

1 対応機種

	Mac
MacOS8.6	○
MacOS9	○

制限事項

※1. パソコン直結のUSBポート接続のみ動作保証致します。
※2. 各対応OSは、プレインストールのみ動作保証致します。
※3. USBインターフェースは全てのUSB機器での動作を保証するものではありません。

2 セットアップの概要

デバイスドライバのインストール
▼
MOドライブユニットの接続
▼
OS起動

3 デバイスドライバのインストール

付属のCD-ROM(MockingBird-MO)デバイスドライバをMacintoshにインストールします。パソコンとの接続と操作は、このデバイスドライバのインストールが完了してから行います。インストールの手順は、以下の説明に沿って行ってください。この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

※Macintoshの機種やOSなどの環境により、表示される様子・内容が若干異なる場合があります。

①CDドライブに「MockingBird-MOデバイスドライバ」をセットします。
ディスクトップ上に「MOCKING_BIRD_MO」のアイコンが現れます。

②「MOCKING_BIRD_MO」のアイコンを開くと、「USB2_3」というフォルダが現れます。

③更に「USB2_3」フォルダを開くと、「Install USB -IDE Drivers」のファイルが現れます。

④ファイルのコピーを開始します。

⑤次のメッセージが表示されますので再起動ボタンをクリックして下さい。

⑥正常に再起動しましたら、デバイスドライバのインストールは完了です。

⑦パソコンとの接続と操作の手順は、このあとの説明（パソコンとの接続と操作）に沿って行ってください。

4 パソコンとの接続と操作

パソコンとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

①MOドライブユニットとUSBケーブルの接続

❶MOドライブユニットに付属のACアダプタを差し込み、ACアダプタをコンセントに接続します。
❷MOドライブユニットのUSBコネクタにUSBケーブルを差し込んでください。
❸MOドライブユニットのPOWERスイッチをONにします。

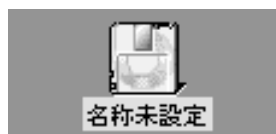
②パソコンとの接続

MOディスクがMOドライブユニットに挿入されている状態で接続はしないでください。先程の状態で、パソコンのUSB端子にUSBケーブルを接続します。

③MOディスクを開く

❶MOディスクをMOドライブユニットに挿入します。フォーマットされているMOディスクであれば、マウント（アイコンがディスクトップ上に現れます）されます。
❷マウントされたMOディスクのアイコンをクリックすると、MOディスク内のデータが表示されます。

④MOディスクのフォーマット

フォーマットしていないMOディスクは、MOドライブユニットにMOディスクを挿入し、初期化ボタンをクリックし、フォーマットを行って下さい。

⑤MOディスクの排出

排出するには、マウントされているディスクのアイコンをドラッグし「ゴミ箱」にドロップします。

注）挿入したMOディスクは、MOドライブユニットのイジェクトボタンでは排出できません。

⑥パソコンからの取り外し

パソコンのUSB端子からUSBケーブルを外します。

■取り外しの注意

1)MOドライブユニットのアクセスランプが点灯している状態での取り外しは絶対にしないでください。
2)開かれているディスクは、必ずファイルを閉じて、MOディスクを排出してから行ってください。
3)必ずMOディスクをMOドライブユニットより排出（イジェクト）してから行ってください。

注意事項を守ってください。もし適正にご使用されなかった場合、MOディスクの物理的な破壊およびデータ破壊、装置の破損や故障の原因となります。

Part2

Windows98（Second Edition含む）

1 対応機種

	FMV	各社DOS/V	PC98-NX
Windows98	○	○	○
Windows2000	○	○	○

制限事項

※1. **パソコン直結の**USB**ポート接続のみ動作保証致します。**

※2. **各対応**OS**は、プレインストールのみ動作保証致します。**

※3. USB**インターフェースは全ての**USB**機器での動作を保証するものではありません。**

2 セットアップの概要

デバイスドライバのインストール

▼

MOドライブユニットの接続

▼

OS起動

注）本製品をパソコンと接続する前にデバイスドライバのインストールを行って下さい。デバイスドライバをインストールせずに接続すると本製品が正しく認識できない場合があります。

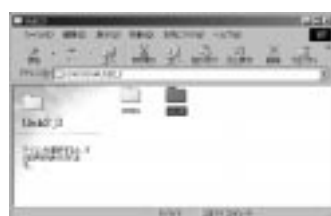
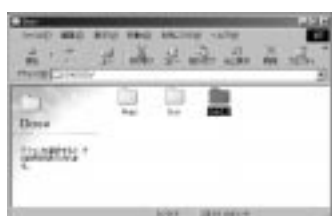
3 デバイスドライバのインストール

付属のCD-ROM（MockingBird-MO **デバイスドライバ）をパソコンにインストールします。パソコンとの接続と操作は、このデバイスドライバのインストールが完了してから行います。インストールの手順は、以下の説明に沿って行ってください。**

※パソコンの機種やOS**などの環境により、表示される様子・内容が若干異なる場合があります。説明では、パソコンの**CD**ドライブが**E**ドライブ、インストールするハードディスクが**C**ドライブという環境を想定しています。**

ご使用になるパソコンの環境によってドライブ名が説明と異なる場合がありますので、ご使用の環境に合わせて行ってください。

①[マイコンピュータ]より[CDドライブ]を選びます。次に[DOSV]のフォルダがありますので開いて下さい。

②[DOSV]フォルダの中の[USB2_3]を開きます。次に[Win98]を開きます。

③[SETUP]をクリックして下さい。
[USB2_3MO Driver]の画面が現れます。

[ようこそ]とインストール導入前に際しての説明が表示されますので、内容を確認しましたら、[次へ]をクリックしてください。

④[インストール先の選択]の表示に移ります。[インストール先のディレクトリ]の項目に" C:\Program Files\USB2_3 MO "が表示されますので、[次へ]をクリックしてください。

⑤[プログラムフォルダの選択]の表示に移ります。[プログラムフォルダ]の項目に“ USB2_3 MO ”が表示されますので、[次へ]をクリックします。その後、プログラムファイルのコピーを行います。

⑥ファイルのコピーを開始します。

⑦再起動を促すメッセージが表示されますので、[完了]をクリックして再起動してください。

⑧正常に再起動しましたら、デバイスドライバのインストールは完了です。

⑨パソコンとの接続と操作の手順は、このあとの説明（パソコンとの接続と操作）に沿って接続を行ってください。

注）接続時に「新しいハードウエアウィザード」が表示されましたら、21ページの【インストールの補足説明】を参考にして下さい。

⑩パソコンとの接続が完了後、デバイスドライバが正常にインストールされると下記のデバイスが表示されます。

上記画面の確認方法
[マイコンピュータ]—[コントロールパネル]—[システム]—[デバイスマネージャ]のタグを開きます。

4 パソコンとの接続と操作

パソコンとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

①MOドライブユニットとUSBケーブルの接続

❶MOドライブユニットに付属のACアダプタを差し込み、ACアダプタをコンセントに接続します。

❷MOドライブユニットのUSBコネクタにUSBケーブルを差し込んで下さい。

❸MOドライブユニットのPOWERスイッチをONにします。

②パソコンとの接続

MOディスクがMOドライブユニットに挿入されている状態での接続は、しないでください。

❶パソコンのUSB端子にUSBケーブルを接続します。

❷Windowsで[マイコンピュータ]を開くと、[リムーバブルディスク]のアイコンが表示されます。

③MOディスクを開く

MOドライブユニットにMOディスクを挿入し、[リムーバブルディスク]のアイコンをクリックすると、ディスク内のデータが表示されます。

④MOディスクのフォーマット

フォーマットしていないMOディスクは、Windowsの[フォーマット]でフォーマットしてください。

◆[フォーマット]は、MOドライブユニットにフォーマットしたいMOディスクを挿入し、[リムーバブルディスク]のアイコンを右クリックすると、メニューに表示されます。(操作の詳細は、「Windowsのヘルプ」を参照してください。)

⑤MOディスクの排出

挿入したMOディスクは、MOドライブユニットのイジェクトボタンで排出するか、または、「リムーバブル」のアイコンを右クリックし、「取り出し」を選択してください。

⑥パソコンからの取り外し

パソコンのUSB端子からUSBケーブルを外します。

■取り外しの注意

1）MOドライブユニットのアクセスランプが点灯している状態での取り外しは絶対にしないでください。

2）[マイコンピュータ]、[エクスプローラ]やプログラムなどにより開かれているMOディスクは、必ずファイルを閉じて、MOディスクを排出してから行ってください。

3）必ずMOディスクをMOドライブユニットより排出（イジェクト）してから行ってください。

注意事項を守ってください。もし適正にご使用されなかった場合、MOディスクの物理的な破壊およびデータ破壊、装置の破損や故障の原因となります。

5 インストールの補足説明

セットアップ完了後MOドライブユニットを接続した時、「新しいハードウェアのウィザード」の表示が出た場合は、下記手順にそってインストールを行って下さい。

「新しいハードウェアのウィザード」からのセットアップ方法

①右の画面が表示されましたら[次へ]をクリックします。

②そのまま[次へ]をクリックします。

③[検索場所の指定]にチェックマークを付け、白い枠内に半角でCD-ROMドライブ名とUSB2_3フォルダを指定します。CD-ROMドライブがEドライブの場合は[E:\DOSV\USB2_3]と入力します。入力したら[次へ]をクリックします。

注）CD-ROMドライブはご使用になるパソコン環境によりドライブ名は異なります。ご使用の環境にあわせて、ドライブ名を指定して下さい。

④[次へ]をクリックします。

⑤[完了]をクリックします。

⑥再度[新しいハードウェアのウィザード]が表示されますので[次へ]をクリックします。

⑦そのまま[次へ]をクリックします。

⑧そのまま[次へ]をクリックします。

⑨そのまま[次へ]をクリックします。

⑩[完了]をクリックするとインストールは完了です。

6 デバイスドライバのアンインストール

①MOの電源を切りパソコン(MO)よりUSBケーブルをはずして下さい。
マイコンピュータより、コントロールパネルを選びます。

②アプリケーションの追加と削除を選びます。

③ “ USB Storage Adapter ” **を選び[追加と削除**(R)]**を押します。**

④ **「はい」を押します。**

⑤ **ここではもう一つドライバーを削除する為「いいえ」を押して下さい。**

⑥ **続いて「**USB2_3 MO Driver**」を選び[追加と削除**(R)]**を押します。**

⑦「はい」と押して下さい

⑧プログラムの削除を行います。

⑨終了後、パソコンを再起動させて下さい。
再起動後は、USB MOドライバーは削除されています。

1 デバイスドライバのインストール

①MOドライブ本体の電源を入れた状態で、USBコネクタをパソコンへ接続します。メッセージ画面が表示されます。

②「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されますので「次へ」をクリックして下さい。

③「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックし、「次へ」をクリックして下さい。

④CD-ROMドライブをチェックし、CD-ROMドライブにデバイスドライバCDを挿入し、「次へ」をクリックして下さい。

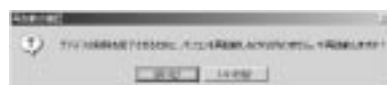
⑥デバイスドライバーが見つかりましたら、「次へ」をクリックして下さい。

⑦デバイスドライバーのインストール完了メッセージが表示されましたら「完了」をクリックして下さい。これでデバイスドライバーのインストール作業は完了です。

2 デバイスドライバのアンストール

①コントロール→アプリケーションの追加と削除を選びます。その中の、USB Storage Adapterを選択し、「変更/削除」を押して下さい。

②メッセージが出ましたら、「はい」を押して下さい。

③デバイスの削除を完了させるため、「はい」を押して下さい。

こんなときは
（トラブルシューティング）

こんなときは（トラブルシューティング）

質　問	確　認	対　処
Q1. (Windows98) MOを接続したがマイコンピュータにアイコンが出てこない。	①MO装置の電源が入っていますか？	①MO装置の電源を入れて下さい。
	②ケーブルは接続されていますか？	②ケーブルを正しく接続して下さい。
	③[マイコンピュータ]─[コントロールパネル]─[システム]─[デバイスマネージャ]のタグを開き、[その他のデバイス]に[USB to IDE Adapter]が表示されていますか？	③以下の手順でご確認ください。 ❶MOドライブの電源を入れた状態でパソコンにUSBケーブルを接続します。 ❷[マイコンピュータ]から[コントロールパネル]の[システム]をクリックし、[システムのプロパティ]の[デバイスマネージャ]を開きます。 ❸[種類別に表示(T)]をクリックし、チェックを入れます。(白丸の中心に小さな黒丸が入っていることをご確認ください) ❹[その他のデバイス]の左の［＋]をクリックし、[−]にして詳細を表示します。 [USB to IDE Adapter](FMO-xxxUSB2の場合) と表示されている場合は、削除してください。 ❺パソコンを再起動します。 ❻MOドライブが正常に認識されていることを確認します。[マイコンピュータ]の中に[リムーバブルディスク]が表示されていることをご確認ください。 【備考】ＭＯドライブのドライバインストールの前にUSBケーブルを接続し、新しいハードウェアの追加ウィザードを次へ進んで該当のドライバが見つからずに不明なデバイスとして認識されてしまうと、ＭＯドライブの［リムーバブルディスク］が表示されない状態となる場合があります。

質　問	確　認	対　処
Q2.（Windows98）MOディスクのフォーマットができない。	①MOディスクがライトプロテクトされていますか？	①ライトプロテクトをはずして下さい。 ②ライトプロテクトがされていない場合は以下の手順を行って下さい。 [マイコンピュータ]─[コントロールパネル]─[システム]─[デバイスマネージャ]のタグを開きます。[ディスクドライブ]をダブルクリックします。 例）FUJITSU MCD3130AP FUJITSU MCC3064AP FUJITSU M25-MCC3064AP FUJITSU MCB3023AP FUJITSU MCF3064AP を選択し右クリックして[プロパティ]を表示して下さい。 [同期データ転送]にチェックがついている場合、チェックをはずしてみて下さい。
Q3.（Windows98）デバイスドライバをインストール中に「エラー？ストリング変数の文字数に対して、充分な大きさがありません。ストリング宣言をして下さい。」とメッセージがでた場合。	① Windowsの[地域]が日本語以外になっている。	①[マイコンピュータ]─[コントロールパネル]─[地域]のアイコンをクリックします。設定が日本語以外になっている場合、日本語に変更してOSを再起動させた後、再度デバイスドライバのインストールを行ってください。

仕　様

型　番		FMO-230USB2	FMO-640USB2	FMO-1300USB2	FMO-640USB3
MOディスク		3.5インチカートリッジ型　ISO標準フォーマット光ディスク媒体			
		128MB 230MB	128MB/230MB 540MB/640MB	128MB/230MB 540MB/640MB 1.3GB	128MB/230MB 540MB/640MB
		(1.3GB、128MBを除きオーバーライトディスク対応)			
回転数（±0.1%）		4,300rpm	3,600rpm	4,500rpm (1.3GB使用時3,214rpm)	3,600rpm
平均シークタイム		28ms			23ms
バッファ容量		512KBキャッシュ		2MBキャッシュ	2MBキャッシュ
周囲環境	動作時	温度　5～45℃（勾配15℃/h以下） 湿度　10～85%（結露しないこと）			
	非動作時	温度　0～50℃ 湿度　10～85%（結露しないこと）			
耐振性	動作時	振動　0.4G（5～500Hz） 衝撃　2.0G（10ms）			
	非動作時	振動　1.0G（5～500Hz） 衝撃　50.0G（10ms）			
M T B F		120,000時間			
インターフェース		USB（Rev1.1）対応			
コネクタ形状		USB(Bタイプ)			
電　源		専用ACアダプタ			
消 費 電 力		10W以下			
外 形 寸 法		119（W）×185（D）×32（H）mm			
重　量		約0.9kg			

1.Windows、 WIndowsNT、MS、MS-DOSは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

2.Macintoshはアップルコンピュータ社の商標です。

3.本書にある商品名、名称など、各社の商標または登録商標です。

製品に関するお問い合わせ先 ・・

株式会社富士通パーソナルズ

ハイパーセレクションサポートセンター

0120-65-8180

受付時間：　祝祭日を除く月曜日～金曜日
AM9時～AM12時／PM1時～PM5時まで

E-Mail：　hyper@fjp.co.jp

修理について ・・・

製品の修理を依頼される場合は、本体同梱の保証書と一緒にお買い上げの販売店までお持ち下さい。
また、付属品類（ケーブルなど）は、故障原因調査のために必要ですので、必ず添付して下さい。